

主な論点

(1) 目指す「世界と伍する研究大学」 ⇒ 研究面、資金面で「成長し続ける大学」

★世界と伍する研究大学の役割（成長し続ける大学として求められるアウトカム）とは

- ①世界最高レベルの研究成果
- ②イノベーション創出
- ③高度専門人材の輩出

⇒ ①～③を継続的に支え、成長させる財政規模の拡大が前提

(2) 世界と伍する研究大学の要素と、要素ごとに必要な取組・環境等

【要素①】人材：先端知を切り開く優秀な人材の集積

○世界マーケットでの優秀な研究者の獲得

(例) トップレベル研究者への高額給与、家族への支援
最先端の研究施設・設備の提供

他分野の優秀な研究者と分野融合的な研究が展開できる環境

教員の雇用形態、海外トップ研究者とのクロスアポイント 等

○優秀な博士課程人材の獲得、若手PIの育成

(例) 博士課程学生への財政的支援、キャリアパスの拡大
若手テニユアポストの提供
アカデミックインブリーディングの打破 等

○優秀な研究支援者と大学職員の獲得・育成

(例) 研究支援者・大学職員の専門性向上・外部からの採用、評価システム、処遇等

【要素②】資金：大学の継続的な成長を支える豊富な予算

○政府からの予算

(例) 政府からの研究費獲得、必要な基盤的経費

○自己収入の拡大

(例) 自大学による基金運用、寄付金獲得（税制や寄付促進策含む）、産学連携研究、ベンチャー育成、授業料等

【要素③】ガバナンス：社会の要請に応えるガバナンスの実現

○成長し続ける大学を実現するためのガバナンス

(例) 学長を含め大学経営層にふさわしい人材の内外からの獲得
ステークホルダーの意向を反映する仕組み
執行部への監督牽制機能
法人の長の選考方法の在り方

⇒これらの論点を踏まえ、世界と伍する研究大学に必要な新たな法的枠組みも検討。